

平成 21 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ゼ ロ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 岩 下 世 志  
(コード: 9028、東証第二部)  
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 部 長 北 村 竹 朗  
(TEL. 044-520-0106)

**業績予想の修正ならびに剰余金の配当（期末配当金）に関するお知らせ**

当社は、平成 21 年 7 月 30 日開催の取締役会において、下記のとおり、平成 21 年 2 月 12 日の平成 21 年 6 月期第 2 四半期決算発表時に開示いたしました平成 21 年 6 月期（平成 20 年 7 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日）の業績予想を修正すること、ならびに剰余金の配当（期末配当金）を行わないことについて決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（平成 20 年 7 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日）

(1) 修正の内容

a. 連結

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 53,900	百万円 △480	百万円 △380	百万円 △410	円 銭 △23 79
今回修正予想 (B)	51,500	△540	△460	△720	△41 87
増 減 額 (B - A)	△2,400	△60	△80	△310	—
増 減 率 ( % )	△4.5	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成 20 年 6 月期)	55,910	1,416	1,527	787	45 67

b. 個別

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 44,300	百万円 △990	百万円 △740	百万円 △500	円 銭 △29 01
今回修正予想 (B)	42,900	△890	△660	△600	△34 89
増 減 額 (B - A)	△1,400	100	80	△100	—
増 減 率 ( % )	△3.2	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成 20 年 6 月期)	50,306	1,048	1,379	842	48 90

(2) 修正の理由

a. 連結業績

(売上高)

国内外で続く景気低迷を背景に消費マインドも冷え込み、車両輸送事業の顧客である自動車メーカーの生産・在庫調整が大規模に実施されたことなどから、新車の輸送受託台数が想定を下回りました。また円高やロシアの関税引上げに伴って、これまで市場を牽引してきた中古車輸出が今年に入って大きく落ち込み、国内における中古車の輸送や中古車オークション事業なども想定以上の影響がありました。

また、グループ会社である株式会社フルキャストドライブで展開するドライバー派遣事業におきましても、派遣先企業における人員の大幅削減が進み、派遣人数が想定以上に落ち込みました。

以上の結果、売上高は予想を24億円下回る結果となる見込みであります。

(営業利益・経常利益)

グループ売上高が想定を下回ったことにより、営業利益及び経常利益が減少いたしました。

車両輸送における収益性の改善に加え、労務費や諸経費の削減など固定費の削減を積極的に進めており、収益構造は改善に向かっておりますが、営業利益で60百万円、経常利益で80百万円、予想を下回る見込みであります。

(当期純利益)

事業環境の悪化を踏まえ、一部不採算事業からの撤退および縮小を実施したのに伴い固定資産やリース資産の処分損などを特別損失に計上したことにより、当期純利益は予想を3億10百万円下回る見込みであります。

b. 個別業績

(売上高・当期純利益)

個別業績予想の修正理由については、連結業績予想の修正理由に準じております。

(営業利益・経常利益)

車両輸送における収益性の改善に加え、労務費や諸経費の削減など固定費の削減を積極的に進めた結果、売上高の減少をカバーし営業利益で1億円、経常利益で80百万円、予想を上回る見込みであります。

2. 剰余金の配当（期末配当金）について

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想		未定	未定
今回決定		0円	0円
当期実績	0円		
前期実績 (平成20年6月期)	4円	5.10円	9.10円

(1) 決定の内容

当社は、本日開催の取締役会において、平成21年6月30日を基準日とする剰余金の配当（期末配当金）を行わないことを決議いたしました。

(2) 決定の理由

配当につきまして当社は、株主に対する利益還元を優先するため、1株当たり連結当期純利益と配当性向を勘案して実施することを方針としております。通期の期末配当金につきましては平成21年2月12日の平成21年6月期第2四半期決算発表時点では、先行きが不透明な業界環境へ対応するため未定とさせていただいておりました。

前述のとおり、平成21年6月期の連結当期純利益は平成17年8月に株式上場後初めての損失を計上する見込みでありますので、期末配当につきましては依然として低迷が予想される事業環境を鑑み、今後の事業展開に必要な内部留保を確保しておくことが、経営戦略上より重要であると判断し、誠に遺憾ながら無配とさせていただくことといたしました。

業績の回復を最優先課題として全社を挙げて取り組み、一日も早い復配により株主の皆様のご期待に沿えるよう努めてまいります所存でありますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

以 上